# 西中学校だより



5 月号



令和6年4月30日発行

始めが大事

目標を立てる 朝をきちんとする

4月

4月のある日の朝、正門のところに立っていると、小学校の登校見守り隊の方から「暖かくなって、服装も変わりましたね」と声をかけられました。自分はおしゃれではないし、何も意識していなかったのですが、その日はいつもの黒っぽいものではなく、少し明るめの色のスーツを着ていました。今月は平年よりも気温が高い日が続き、とても過ごしやすく感じます。でも、「いい季節になったなぁ、春やなぁ」と思っていたら、この学校だよりが出るころの時候の挨拶は「晩春」や「惜春」だそうで、少々驚きました。季節は確実に移り変わっています。さて、新学期が始まって一か月、生徒は程よい緊張感をもって元気に過ごしていました。登校時たくさんの大きな挨拶の声を聞くと、こっちも元気になります。

- ・これまでの行事など … 入学式、始業式、赴任式、対面式、離任式など、全校で集まる機会がたくさんありました。9日に身体測定を行いました。休み時間に保健室の横の廊下に置いてある身長計を使っている生徒もよくいます。
- ・学習 … 10日からは授業が始まり、3年生を対象にした全国学力学習調査が18日に行われました。いよいよ勉強も本格的にスタート。今後、内容が濃くなり、進度も速くなります。1時間ごとの授業を大切にする姿勢、毎日の復習を行う等、前向きに取り組みましょう。
- ・生活 … 昼休みは外に出てボールで遊んだり、友だちと話をしたりする姿も多く見られ、いい雰囲気に思わず微笑んでしまうことも多くありました。部活動も仮入部期間(結構な数の生徒が参加していました)を経て、18日のクラブミーティングから正式に新入部員を迎えての活動をしています。体験入部や見学、部員の募集は続いていますので、やってみようかなと考えている人は一歩踏み出してみてください。きっと自身の成長につながります。

ところで、離任式後の集会で、生徒指導の川口先生が「始めが大事」という内容の話をしてくださいました。中国の明の時代に書かれた、月令広義(げつれいこうぎ)という本の中に、

-日の計は晨(あした)にあり

一年の計は春にあり

一生の計は勤にあり

一家の計は身にあり

という文があります。現代風にすると、

ー日の計画は朝にきちんと立てるのが大事 −年の計画はその年の最初に立てるのが大事 −生の計画はまじめに努力し働くことが大事 −家の将来は健康で過ごすことが大事

となります。この二節目の部分と、日本の戦国武将の毛利元就の言葉が「一年の計は元旦にあり」の語源だそうです。学校は4月に始まるので、まさにピッタリ当てはまります。話の内容に関する掲示が生徒玄関にされているので、意識して過ごした人がたくさんいたからこそ、いい雰囲気でのスタートにつながったのだと思います。ぜひこの調子、緊張感を忘れずにこれからの学校生活に臨んで欲しいです。4月はこれまでと環境が変わり、初めてのことが多く、戸惑いもあった

かと思います。5月には中間テストがあり、部活動では大会も組まれています。ゴールデンウィークで一息ついて、英気を養ってください。 休み明けからも学習面、生活面共に充実させましょう。

# 保護者のみなさまへ

お忙しい中を4月19日からの家庭訪問にご協力いただき、ありが とうございました。短い時間でしたがご家庭や学校の思い、考えを互いに知る良い機会となりました。いつも申し上げている通り、生徒がよりよく成長していくためには学校の力だけでなく、家庭・地域との連携や協力が必要不可欠です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

# 部活動

ソフトテニス部 地区春季大会個人戦予選 ブロック大会 男子は全10校99組、女子は全10校76組が出場し、男子は上位32組、女子は上位16組が決勝へ進出するうち、西中学校からは3年の男子ペア1組、女子ペア4組が決勝大会へ進出しました。

# 熱中症の予防について

5月から注意が必要です。暑熱順化(体を暑さに慣らせること)することで熱中症を防ぎましょう。日本気象協会の「熱中症ゼロへ」公式サイト(以下イラストも同サイトより抜粋)によれば、暑熱順化の方法で学校に関することでは「通学・通勤」「部活動」「体育の授業」、家庭や地域の活動に関することでは、「買い物」「ペットの散歩」「入浴・サウナ」「習い事」があげられています。本格的に暑くなる前に、暮らしの中に暑熱順化の習慣を取り入れ、熱中症にならない体づくりをしていきましょう。また、熱中症の原因としては、夜更かしや水分や塩分不足もあります。早めに就寝して、朝食を十分にとって登校するように心がけましょう。万が一、活動中に熱中症が疑われる場合には、保護者や家庭への連絡を行うことになりますのでご理解とご協力をお願いいたします。



■名となる前から運動や入浴などで汗をかき、体を書さに慣れさせましょう。普段の生活の中にも、暑熱順化につながるシーンは様々あります。 自身や身近な人の生活スタイルに合わせて、無理のない範囲で習慣づけることが大切です。

# 非常変災(警報発令や大地震発生)時の対応について

4月23日(火)にお手紙をお配りしました。梅雨のころになりますと荒天により気象警報や土砂災害警戒情報が発令されることもあります。その場合の対応をまとめてお知らせしておりますのでご理解と保管をお願いします。下に一部を再掲しています。

なお、臨時休校となる場合はテトル(tetoru)にて一斉メール配信と西中 HP にも掲載いたします。テトルの登録がまだの場合はご協力をお願いいたします。

# 在校中に

## 発令した場合

# 気象警報等の発令時の対応について

#### 河内長野市に

『暴風警報』「大雨警報」『洪水警報』『土砂災害警戒情報』「大雨特別警報」

のいずれかが発令されている場合、または

河内長野市から

警戒レベル3以上または、『避難指示』が出された場合

※気象警報等と警戒レベルの関係については、裏面を参照ください。

#### 在宅時(登校前)に発令した場合

時刻と状況	対応
午前7時に発令されている場合	自宅待機
午前7時~午前9時30分に解除された場合	安全に注意して速やかに登校(昼食持参)
午前9時30分で解除されない場合	臨時休業
(7時段階で発令されていなかったが、新たに発令	
された場合も含む)	

# 大規模地震発生時(河内長野市で震度5弱以上の場合)の対応について

#### 登校前の場合(自宅を出る前)

- 〇前日の17時以降自宅を出る前までに、河内長野市に「震度5強以上の地震が発生」した場合、学校は臨時休校とします。
- ○通学路や学校に危険がなく授業ができる状況にある場合は、学校より連絡いたします。

## 登校・下校途中の場合

○大きな地震が起きた場合は、原則としてそのまま帰宅させてください。ただし、学校に 近い場合または危険なために自宅に戻れない場合は、いったん学校に避難し、保護者の 迎えを待ちます。

### 在校中

○授業を打ち切り、学校で待機させますので、保護者の方が迎えに来てください。

# 河内長野市で震度4以下の地震発生の場合の対応について

○「震度4以下」の地震が発生した場合は、校区内の被災状況等の 安全を確認した上で、通常どおり登校させてください。





	06		5月行事予定表					给食	
	限日	時間	<u></u> 行 事	<b>創活動</b>	清掃 :	備考	1年	2年	3年
1	水	45>40		1,,					Ш
2	木	45×6		Х					
3	金		祝日·憲法記念日 -						
4	±		親日 みどりの日						
5	В		親日 こどもの日						
6			<u>据替休日</u>						
7	火火		専門委員会		<u>}</u>				
l-	Н	45×4	授業参観、終学活後PTA総会、各学年説明会	l x	<b>尼</b> 簡	参観1A美、2AB総、3A			Н
8	水	+50	13.55 50.00 170180 1701520 11 11017124	<u>↓^</u>		数、3B国			Н
9	木								Ш
10	金	50×5		X		SC			
11	±								
12	Θ								
13	月		尿検査2次 交通安全指導		<u> </u>				
$\vdash$	火		内科検診(13:30~) 交通安全指導	+					Н
$\vdash$	水		   耳鼻科検診(13:30~) 交通安全指導	+					Н
⊢		50×5		l x					Н
⊢	木			X		西中ゼミ SC			Н
17						MTC- 00	******		
18	*			Х					
19	B			X					
20	月			X		西中ゼミ			
21	火			X		西中ゼミ			П
22	水			X		Jアラート 11:00			Н
$\vdash$	木		<u>中間</u> テスト	X			Х	Х	Х
24	Н		中間テスト 全校集会(3限)			15:15終了	Х	Х	Х
						15:30下校 SC	3333		3333
25									
26		45	4-40 July 200		•				
27	月		カウンセリング①						Ш
28	火	45×6	カウンセリング②						
29	水	45×6	カウンセリング③						$\prod$
30	木	45×5	尿検査予備日	X					
31	Н	45×6	カウンセリング@	+		SC			H
JI	ᠴ								